

ひょうごらくのうメモ

11

2019 NOV



WEB



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

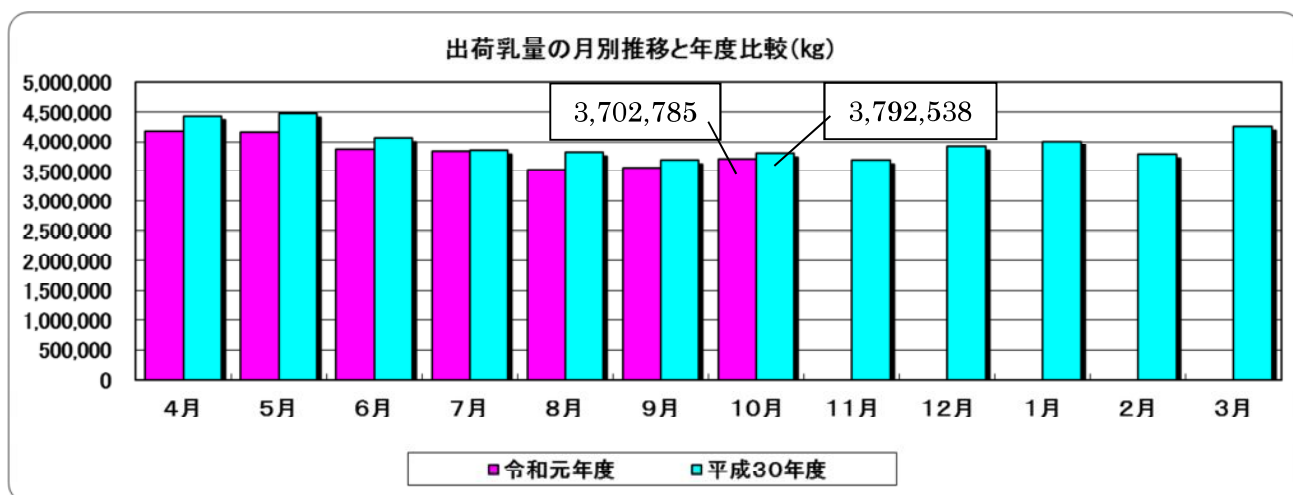
生乳生産量統計

1. 全国（令和元年9月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.8	99.9
令和元年 5月	644.2	99.5
令和元年 6月	618.9	99.7
令和元年 7月	623.3	101.1
令和元年 8月	595.6	98.2
令和元年 9月	583.5	104.1
令和元年10月		
令和元年11月		
令和元年12月		
令和2年 1月		
令和2年 2月		
令和2年 3月		
令和元年度累計	3688.2	99.6

2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和元年10月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	613,652	98.1	4,327,556	93.9	25
播州地区	1,077,293	100.8	7,724,375	98.7	36
丹但地区	314,272	82.6	2,378,047	94.7	18
淡路地区	1,697,568	98.8	12,390,188	95.8	112
合 計	3,702,785	97.6	26,820,166	95.4	191



「県産牛乳の魅力」兵庫県民農林漁業祭でPR！



兵庫県民農林漁業祭は、県下の生産・加工・流通関係者及び関係団体が、五国のめぐみ（地域の農林水産物）を持ち寄り、展示・販売・体験等を通じて、地産地消（県産県消）及び都市・農山漁村交流の推進とひょうごの農林水産業のさらなる活性化を図ることを目的して毎年2日間に渡り県立明石公園内千畳芝を会場に開催されている人気イベントで、今年は第41回として10月19日（土）・20日（日）に行なわれました。

組合も例年県関係機関のご協力を頂き、ブースの出展を行い両日で400名の『超音波骨密度測定』・『牛乳の試飲』並びにグッズやチラシ等の配布をし、酪農理解醸成推進の場として取り組んでおります。

あいにく初日の土曜日は午後に雨が降りましたが日曜日は天候も良く、朝早くから各ブースとも凄い人で賑わっていました。来場者

の中には毎年この『骨密度測定』を目当てに足を運ばれている方もあり、両日ともに定員を達成し、また牛乳の試飲でも「毎日飲んでいる」・「この牛乳なら飲める」など、嬉しいお声をたくさん聞くことができました。

これからも、もっともっと県産牛乳の安心・安全そして美味しさを、ひとりでも多くの消費者へPRしていければと思います。



らくのうひょうごフェスティバル 盛大に開催！



令和元年10月26日（土）、淡路市の淡路家畜市場特設会場において、農林水産省、兵庫県ほか関係機関、関係団体の後援のもと第37回らくのうひょうごフェスティバルを開催しました。



審査に当たる齋藤審査委員長

主行事となる兵庫県乳牛共進会では一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センター場長、齋藤久明氏を審査委員長として県下各地から集まった第1部から第10部まで全60頭の出品牛により日頃の改良の成果が競われ、栄えあるグランドチャンピオンには加西市の兵庫県立播磨農業高等学校出品の「ハリマ リコライス ドリーム シエリー E T」（第7部）が選定されました。（各部の入賞牛は5ページに掲載）

この「らくのうひょうごフェスティバル」は例年、乳牛共進会のほか「兵庫県産牛乳まつり」における兵庫県産牛乳の試飲や牛乳・乳製品の直売などのイベントを通じ牛乳の消費拡大や酪農理解醸成活動の一環として取り組んでいます。今年はさらに多くの一般消費者の皆様に来場して頂けるよう主に小学生のお子様居られるご家族を対象とした体験コーナーを設けるなど創意工夫し準備を進めてきました。

開催当日は天候が心配されましたが、前日朝からの雨も上がり開会直後から家族連れを中心に600名を超える多くの皆様に来場頂きました。

午前中には人気ゲーム機などが当たる抽選会や模擬搾乳体験のコーナーには行列ができ、牛乳パックを使った工作コーナー、仔牛への哺乳体験、牧草ベット、牛乳の試飲などでも多くの皆さんに楽しんでいただけました。また会場内の乳牛を題材とした絵画コンクールにおいても、100名を超える子供たちが一生懸命に牛の絵を描き応募してくれました。

初の取組みとなる内容も多く、準備や当日の運営等、検討課題もありますが例年を大幅に上回る一般消費者の皆様に向け、酪農や牛乳・乳製品に対する関心を高めてもらえるよい機会になりました。



令和元年度兵庫県乳牛共進会入賞牛一覧

賞	審査番号	名号	住所	出品者	
名誉賞	701	ハリマ リコライス ドリーム シエリー ET	加西市	県立播磨農業高等学校	
優秀賞	110	アリスト エイダ ジューンブライダル	南あわじ市	山田 光雄	
	206	ケンノウ マリ デンバー チセ	加古川市	県立農業高等学校	
	706	セノーファーム メリディアン ショツク	洲本市	山本 仁士	
優等賞	第 1 部	110	アリスト エイダ ジューンブライダル	南あわじ市	山田 光雄
		119	フェアハイブン MF プレミアム チーズケーキ	南あわじ市	高田 和也
		107	アリスト クラツシュ ダークスター	南あわじ市	山田 光雄
		108	マツクスベル レニゲート ボディー	神戸市	永田 幹彦
		112	ハリマ ウインドミア ドアガール ヒマワリ	加西市	県立播磨農業高等学校
		第 2 部	206	ケンノウ マリ デンバー チセ	加古川市
	216		スーリンワールド コマンダー アリナ	南あわじ市	藤田 雄三
	211		アリスト ゴールドチツプ パラダイス	南あわじ市	山田 光雄
	213		ハリマ フランレーン カレン アネラ	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 3 部	201	フオレツクス カレン ペノツシュ	洲本市	奥村 重宏
		305	ベルベツト ゲイン ロクセツト	洲本市	山本 仁士
	第 4 部	401	アイピース エステイローザ エルバンク	洲本市	相曾 勉
	第 5 部	501	ミツドフィールド キングボーイ プレス	洲本市	山本 仁士
	第 6 部	601	ラツキーデール レーザービーム コスモス	南あわじ市	淡路島牧場(株)
		701	ハリマ リコライス ドリーム シエリー ET	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 7 部	706	セノーファーム メリディアン ショツク	洲本市	山本 仁士
		708	MS グローリア ユニクス	南あわじ市	出口 順也
	第 8 部	801	フェアハイブン MF プレミアム マンゴープリン	南あわじ市	富永 忠良
	第 9 部	902	ハリマ リコライス アイオーン カトレア	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 10 部	1001	MS エリー ガスリン ローズ	南あわじ市	富永 忠良
能力賞	第 8 部	801	フェアハイブン MF プレミアム マンゴープリン	南あわじ市	富永 忠良
	第 9 部	901	ベルベツト スパークリング ウインド	洲本市	山本 仁士
	第 10 部	1001	MS エリー ガスリン ローズ	南あわじ市	富永 忠良
乳器賞	第 7 部	701	ハリマ リコライス ドリーム シエリー ET	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 8 部	801	フェアハイブン MF プレミアム マンゴープリン	南あわじ市	富永 忠良
	第 9 部	902	ハリマ リコライス アイオーン カトレア	加西市	県立播磨農業高等学校
	第 10 部	1001	MS エリー ガスリン ローズ	南あわじ市	富永 忠良

日 時 令和元年10月26日(土)
 場 所 淡路市塩田新島3-2
 淡路家畜市場内 特設会場
 審査委員長 一般社団法人 家畜改良事業団
 熊本種雄牛センター場長 齋藤 久明 氏
 審査委員 淡路農業技術センター
 所 長 前川 和正 氏

○主な行事予定

（11月）

17日 近畿酪農フェスタ（ABCラジオまつり）
19日 上期監査会

内部管理職会議

20日 洲本市クラスター協議会総会

21日 全国酪農協会理事会・基本対策委員会

23日 第54回播磨農高祭

25日 第35回中国地区B&Wショウ打合せ会議

全酪連酪生研会員職員研修会（26日）

27日 第26回酪友フォーラム

28日 女性部視察研修会

丹波地域口蹄疫他連絡協議会

29日 もう〜もう〜スクール三田市立三輪小学校

（12月）

2日 内部職員会議

3日 第6回理事会

4日 熊本県専門農協協議会来組

6日 初妊牛展示購買会

7日 らく婚（婚活イベント）

こうべ地域たべもの祭り

9日 全酪連近中四酪農団体協管内研修

神戸北酪農部会冬季研修会

11日 酪農生産研究会秋期研修

12日 近畿生乳販連理事会

丹但地区発 中古機械売ります！

○STARマニアスプレッダー 1500

丹但地区より中古マニアスプレッダーの販売希望のご案内です。
購入後の年数は経過していますが、ほぼ未使用で倉庫に保管されていた物品です。
物品についての詳細、希望価格等は販売希望のご本人に直接お問い合わせください。
（ご希望の方は指導購買課スタッフ宛、ご連絡いただきましたらご本人の連絡先等ご案内させていただきます。）



淡路家畜市場情報

令和1年10月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	13	208,492	275,000	107,800			55
前回	21	255,189		341,280	44,280			56	-46,697	-18.3%	
前年	18	164,160		272,160	1,080			56	44,332	27.0%	
オス	今回	19	287,621	344,300	232,100			52			
	前回	28	284,773	354,240	7,560			52	2,848	1.0%	
	前年	18	210,180	349,920	12,960			53	77,441	36.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	7	52,329	95,700	1,100			53			
	前回	9	25,680	60,480	1,080			52	26,649	103.8%	
	前年	11	93,273	145,800	25,920			52	-40,944	-43.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和1年9月25日・前年は平成30年10月9日

令和1年10月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	22	234,250	277,200	180,400			55
前回	13	208,492		275,000	107,800			55	25,758	12.4%	
前年	13	275,982		297,000	187,920			57	-41,732	-15.1%	
オス	今回	13	278,131	334,400	134,200			56			
	前回	19	287,621	344,300	232,100			52	-9,490	-3.3%	
	前年	13	287,778	346,680	77,760			55	-9,647	-3.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	2	40,700	45,100	36,300			54
前回											
前年											
オス	今回	13	65,069	102,300	19,800			52			
	前回	7	52,329	95,700	1,100			53	12,740	24.3%	
	前年	13	105,342	127,440	50,760			49	-40,273	-38.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和1年10月9日・前年は平成30年10月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6	131,252	34	168,090	72	137,880	12	151,160	8,011
	7	151,004	66	158,593	110	182,520	11	136,450	9,205
	8	134,983	65	137,809	163	131,854	23	117,344	9,423
	9	121,656	76	120,268	156	92,417	14	118,081	9,056
	10	111,122	101	120,324	168	75,731	33	127,446	9,999
	11	101,422	88	125,346	197	115,210	37	128,441	9,343
	12	93,518	88	98,413	114	74,236	38	115,932	8,261
31	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9	91,330	85	95,559	127	67,068	20	103,513	8,950
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,634	13,155
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	320,427	175	278,094	12,768
	6	312,657	187	310,953	296	361,873	311	291,022	10,865
	7	296,223	246	315,086	292	362,384	111	283,769	11,795
	8	287,276	253	283,302	461	316,868	154	254,701	12,525
	9	273,584	286	275,638	377	294,961	161	251,290	12,152
	10	267,927	336	271,927	352	292,655	175	251,406	13,598
	11	273,716	302	276,629	458	291,466	193	260,225	12,929
	12	274,699	336	275,416	397	297,295	216	265,315	12,740
31	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9	273,749	488	247,863	400	305,611	147	257,885	13,184
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(令和1年11版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

令和1年10月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	4日	608,000円	883,000円	-275,000	68.9%
ホクレン十勝市場	8日	728,000円	895,000円	-167,000	81.3%
ホクレン釧路市場	9日	741,000円	921,000円	-180,000	80.5%
ホクレン根室市場	10日	715,000円	908,000円	-193,000	78.7%
ホクレン豊富市場	17日	735,000円	848,000円	-113,000	86.7%
ホクレン北見市場	23日	701,000円	877,000円	-176,000	79.9%
ホクレン十勝市場	24日	676,000円	940,000円	-264,000	71.9%
ホクレン根室市場	31日	733,000円	863,000円	-130,000	84.9%
平均		710,000円	902,000円	-192,000	78.7%

11月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	7日	728,000円	907,000円
ホクレン南北海道市場	8日	608,000円	733,000円
ホクレン豊富市場	14日	735,000円	815,000円
ホクレン釧路市場	19日	741,000円	862,000円
ホクレン北見市場	20日	701,000円	862,000円
ホクレン根室市場	21日	715,000円	809,000円
ホクレン十勝市場	27日	728,000円	850,000円
平均		710,000円	853,000円

12月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	6日	775,000円
ホクレン豊富市場	12日	827,000円
ホクレン北見市場	16日	878,000円
ホクレン十勝市場	17・18日	921,000円
ホクレン根室市場	19日	896,000円
ホクレン釧路市場	20日	854,000円
平均		883,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

北海道乳牛産地情報

(令和元年11月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	35~40	弱含み	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.7%、累計で97.9%、苫小牧管内月計で98.1%、累計で98.2%の実績となっております。 11月の初妊牛動向といたしまして、1月分娩腹が中心で動くものと思われま。10月の同地域の乳牛市場は税込み70万円の相場展開をみせましたので、11月も軟調な動きを見せるものと予測されます。庭先購買では雌雄選別腹・和牛受精卵移植腹が幹旋しやすい状況となっています。また、高能力牛も出てくる地域です。導入のご予定がございましたらお早目のお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	72~80	横這い	
	経産牛	50~60	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~40	弱含み	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.3%、累計で100.3%、中標津管内月計で103.2%、累計で102.9%の実績となっております。 11月の初妊牛動向といたしまして、1月~2月上旬分娩が中心となります。10月の管内乳牛市場は釧路・根室ともに前回よりも下げの相場となりましたが、上・中クラスは大きな下げとはならなかったため、11月の庭先購買価格は横這いで推移するものと思われま。別腹ではF1腹が堅調、雌雄選別腹・和牛受精卵移植腹はやや軟調な動きをみせています。育成牛相場は資源が増加傾向にあることや夏生まれがメインとなってきたため、弱含みで推移するものと思われま。
	初妊牛	77~87	横這い	
	経産牛	47~57	やや弱含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	35~40	弱含み	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.0%、累計で103.8%の実績となっております。 11月の初妊牛動向といたしまして、1~2月の分娩となりF1腹が中心となりますが、雌雄選別腹も確保できる状況となっております。当管内地域の乳牛市場は9月、10月と2回のペースで開催されていますが、この2か月軟調に推移しており、和牛受精卵移植腹や経産牛を除く初妊牛平均価格は税込み71万円程度となっています。この平均価格にはスソ物も入っていますので、庭先選畜購買はもう少し上の相場となります。出回り頭数は多くなっており、11月相場も横這いで推移するものと思われま。育成牛においても、10月は弱含みな動きとなっており、同地域の育成市場での平均価格は税込み33万円となっています。
	初妊牛	75~85	やや弱含み	
	経産牛	50~60	やや弱含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~40	弱含み	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.0%、累計で99.6%、北見管内では月計で100.4%、累計で101.6%の実績となっております。 11月の初妊牛動向といたしまして、1月中旬以降の分娩が中心となります。管内である豊富・北見乳牛市場の価格は下げ基調ですが、中クラス以上の牛の価格は大きく下がっていない状況です。資源頭数は増えていますが、道内需要も堅調であるため、11月の庭先購買価格はF1腹・雌雄選別腹ともに横ばいで推移するものと思われま。育成牛・経産牛についても資源頭数は増えており、育成牛は弱含み、経産牛はやや弱含みで推移するものと思われま。
	初妊牛	72~80	横這い	
	経産牛	45~53	やや弱含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	35~40	弱含み	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、101.9%、累計で102.0%の実績となっております。各管内、冷涼な気候となっており、生乳生産が順調に伸びています。育成牛も放牧地から下牧となる時期となりました。 11月の初妊牛動向といたしまして、1~2月の分娩中心となりますが、初妊牛相場が軟調の中、牛による価格差が出ており、上・中クラスは安定した相場を維持している状況です。資源豊富の中ではありますが、道内外ギガファームの動向により大きく相場が動く可能性もありますので、導入予定がございましたら、お早目のご相談・ご注文をお願い致します。弊会と致しましては、相場動向に注視しながら庭先選畜購買を中心に安定的に搾乳素牛を供給していきますので宜しくお願い致します。
	初妊牛	75~85	やや弱含み	
	経産牛	47~57	やや弱含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

2020年1月から重油に含まれる硫黄に対する環境規制が始まります。

多くの船社で10月からLow Sulphur Compliance Charge(LSFCC)の導入が通知されていましたが、具体的な上昇幅はまだ不透明です。このため、一部の船会社では当該チャージの導入を11月以降に延期しています。

また、このところGRI(海上運賃一斉値上げ)の動きは限定的で、どの船社もLSFCCの導入を機に運賃の見直しを通知してくる可能性があります。

ビートパルプ

【米国】

ミシガン州では生育期終盤の気温も高く適度な降雨もあったことから、単収の予想は上方修正されていますが、過去5年平均よりも下回る見込みです。作付面積は昨年比でわずかに減少しています。

ミネソタ州及びノースダコタ州の北部から中部では収穫作業は60%程の進捗となっています。単収は過去5年平均と比べ同レベルかやや増加と見込んでいます。現状、圃場がぬかるみ作業ができない地域が多く、圃場が凍結し収穫ができなくなる11月中旬頃までの進捗が今後の生産量増減を左右しそうです。

ミネソタ州中南部では10月下旬にまとまった降雨があり、その影響で収穫作業が中断しており、現在のところ収穫進捗は80%程となっています。単収は例年並みで作付面積は昨年よりもやや減少しています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、2019年産のアルファルファの収穫は終了しています。4番刈は断続的な雨の影響で、約60%が雨当たりの被害を受けたと言われています。このため雨当たりでない安価なものは極めて少なく、上級品の発生も限定的です。4番刈の収穫期前後、産地では濃い露が発生したため多くの圃場で変色(ブリーチ)が散見されています。

需要面では特に中東からの引き合いが非常に強く、日本向け需要にはない雨当たりの低級品も一部のサプライヤーでは積極的に買付に動いています。また、先月発表された中国の追加関税一部免除を受け、在庫の確保に動いているサプライヤーもいるようです。

4番刈も例年に比べ不調に終わったため、今年は総じて上級品の供給余力には限りがあるとの見方がさらに強まっており、端境期に向け産地相場は強気に推移していく可能性が高まっています。

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは、4番刈が10月中旬で終了しています。3番刈は、大きな降雨被害は受けていないものの、濃い霧の影響により約50%で変色（ブリーチ）が見られますが、その他の品質に関しては概ね例年並みとなっています。4番刈の雨当たりは約25%と少なく、上級品が多く発生しましたが、米国内からの需要が強く現地では高値で取引されています。

オレゴン州中部クリスマスバレーでは、3番刈が終了しています。局地的な降雨と、積雪の影響により品質的に問題がある圃場が出ており、約50%で変色（ブリーチ）や刈遅れが見られ、良品は限定的となっています。上級品に関しては米国内からの需要が強く他産地と同様に高値で取引されています。



オレゴン産アルファルファ3番刈(10月上旬撮影)

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、一部の圃場で8番刈を収穫中です。

産地の天候は徐々に冷涼になっており、アルファルファの成分も回復傾向にあります。が、圃場によっては雑草の混入が見られます。今後、当地では中国向け需要の中心である色が綺麗で成分の良い上級品の発生は限定的であると予想されており、年明け以降、上級品の在庫は枯渇する恐れがあると言われております。

中国向けの追加関税の撤回が決定されて以降、中国を中心に取引しているサプライヤーは積極的に買付を試みており、さらには米国内の乳価も回復しているため、産地価格は上昇傾向にあります。

米国産チモシー

19年産のワシントン州におけるチモシーの生産は終了しています。2番刈では殆どの圃場で降雨による被害を受けており、上級品の発生率は10%以下と非常に限定的となっています。このため乳牛向けだけではなく、馬向け・ペット向けからの引き合いも強く上級品は高値で取引されています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区では現在2番刈が終盤を迎えていますが、降雪・吹雪の影響もあり、収穫作業は遅れています。降雪や不安定な天候の影響で圃場での乾燥調整に時間を要していることから、今後収穫されるものの多くは低級品になると見込まれています。

産地相場については、US産チモシーの軟化とカナダ国内における自給粗飼料の状況も改善されたことからシーズンの序盤では弱含みの傾向にありました。しかしながら、上級品の発生が期待よりも少なく、需給にやや逼迫感が出てきていることから、発生量の少ない上級品の価格は強含みに推移し、発生の中心となっている中～低級品との価格差は昨年よりも開きつつあります。

クレモナ地区の収穫は終了しています。収穫期序盤は天候に恵まれ上級品が多く生産されましたが、その後は不安定な天候の影響で収穫適期を逃したものが多く、中級品以下の発生が中心となりました。

スーダングラス

19年産の輸出向けスーダングラスの生産はほぼ終了しています。10月15日時点の作付面積は前年同期比72%の約5,600エーカーとなっています。

チモシー相場の軟化を受け、スーダンの相場も概ね旧穀比弱含みで推移したことから一部の生産農家の生産意欲が減退、1番刈でスーダンの生産を中止し、2番刈の生産を行わない圃場が予想以上に増えました。加えて近隣の肥育農家からの需要も堅調で、このため産地における低級品の在庫は例年以上に少なくなっています。

また、新穀の豪州オーツハイの多くは上級品になる見込みであり、低級・安価品の供給余力が例年よりも少なくなると予想されており、イネ科の安価品としてのスーダン低級品への引き合いはさらに高まっているようです。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地インペリアルバレーでは5番刈の収穫作業が終了し、一部の圃場では6番刈の収穫作業が行われています。10月15日時点の作付面積は前年同期比111%となっています。生産量は増加しているものの、日本および韓国からの需要は引き続き堅調なため、産地相場については大きな変動なく昨年と比べ高値で推移しています。

韓国では直近の国内在庫が一時的に過多になっており、11-12月の輸入量はやや少なくなる見込みですが、年明けに輸入枠（クォーター）が更新されると需要は戻るとも言われています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地のオレゴン州ウィラメットバレーでは各種ストローの収穫は終了しています。今年は総じて雨当たりのない良品の発生は限定的となりました。産地ではこれらの良品は高値で取引されており、今後の価格に反映してくると思われられます。

9月から10月にかけて襲来した大型台風は、日本および韓国双方において稲わらなどの自給飼料の生産に影響を及ぼしています。収穫後の自給飼料の在庫に被害を受けてしまった生産者もあり、代替として米国産ストローへの需要が高まりつつあるため産地価格は上昇しています。

豪州産オーツハイ

2019年産オーツハイの収穫は中～終盤を迎えており、多くの圃場でベーリング作業が進んでいるところです。

西豪州：

ほとんどの圃場で収穫が終了し、ベーリングも80%程度進んでいます。これまでに収穫作業を完了している圃場では、天候にも恵まれ上級品の発生が非常に多くなっています。残りのベーリング作業も11月上旬には終える予定ですが、天候が不安定になるとの予報が出ています。

収穫量に関しては当初の予想より悪く、生育期の降水量が少なかった北部では例年の50%の単収（2-3トン/ha）、南部では例年の60%（3トン/ha）となっています。旧穀からの繰越在庫が少なかったことに加え、予想よりも収穫量が少ない地域があったことから、各サプライヤーは序盤から積極的に原料草の買付を行っている状況

です。このため、当初は軟化が予想されていた産地相場ですが、現時点では昨年と同じレベルまで近づきつつあり、今後はさらに上昇し昨年の価格を上回る可能性もでてきました。

南豪州

南豪州でも収穫が終了し、ベーリング作業は60%程度進んでいる状況です。10月下旬は天候にも恵まれ、ベーリングに適した気候となりました。これまでのところ、分析結果も見た目も非常に良好で上級品が多く発生しています。収量は例年の95%程度と予想されています。

東豪州

収穫作業は中盤を迎えています。東豪州の南西部などの一部地域では引き続き刈り取りが続いています。ベーリング作業は東豪州でおおよそ30-40%の進捗となっており、11月上旬までに残りの作業がピークを迎えますが、西豪州と同様に11月上旬の天候が不安定との予報が出ています。

単収は例年並み(5トン/ha)と予想されており、一部の地域ではそれ以上を見込んでいます。これまでのところ、見た目も分析も良好で上級品が多く発生すると思われる。

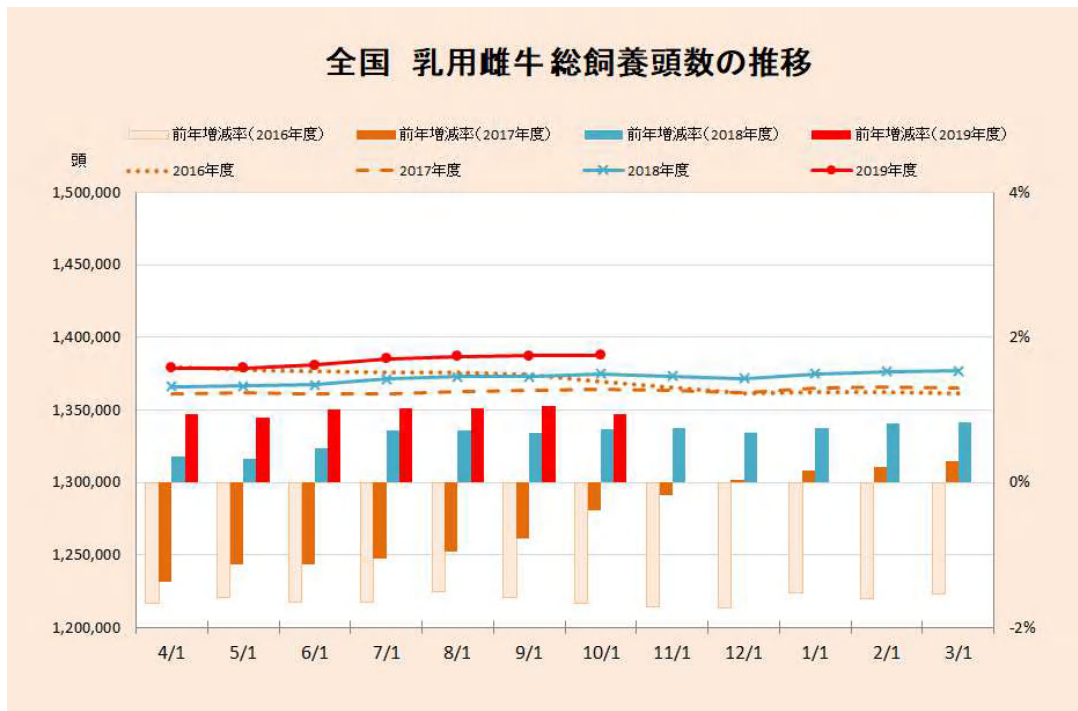
豪州全体では総じて現時点まで収穫期間の天候に恵まれ、見た目も成分は上級品レベルのものが多く発生している状況です。一方、中～低級品の発生は少なく、年間通じての供給余力がないため、オーツハイ単体での出荷ではなく、オーツハイの上級品とウィートストローをブレンドしたものを代替として使用せざるを得ない可能性が高まっています。

新穀のオーツハイの生産量は昨年よりも増えることが期待されており、新穀価格は軟化すると予想されていましたが、生産量が予想よりも少なくなりそうな状況に加え、新穀直後の輸出向け需要が堅調であることから、当初の期待ほど産地相場が軟化せず旧穀と変わらない価格帯になる可能性も出てきました。

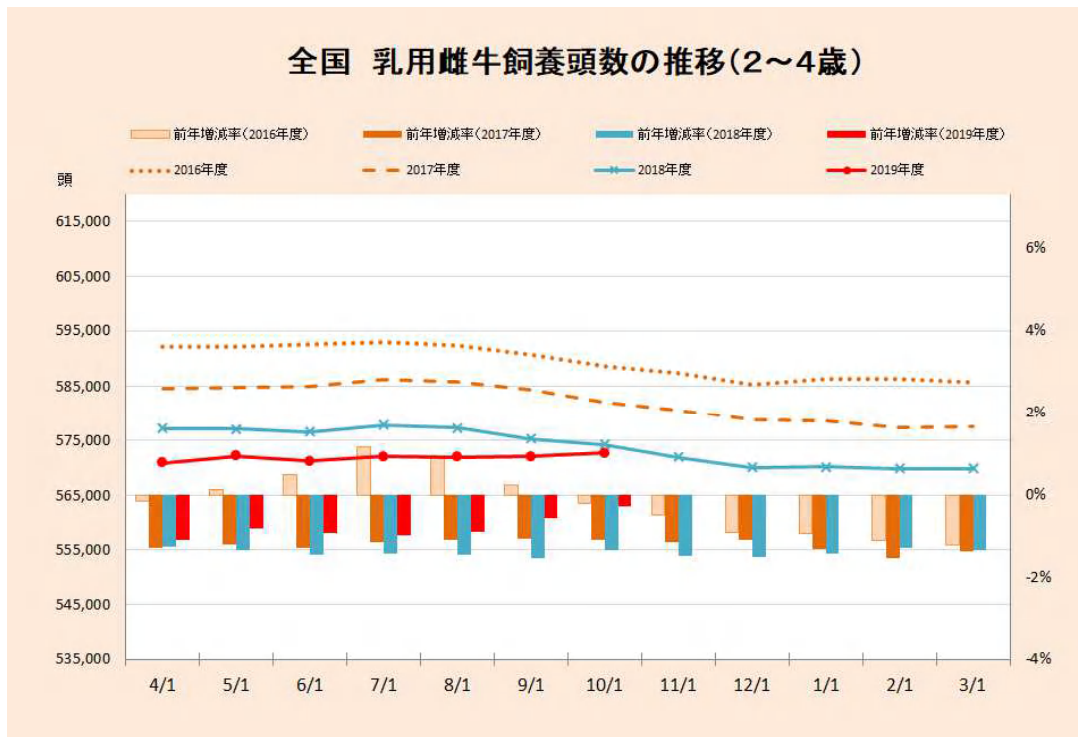
旧穀在庫も底をついているうえ、新穀の収穫が遅れた影響で各サプライヤーへのオーダーが殺到しています。このため多くのサプライヤーで、11月出荷に関しては追加でオーダーを受ける余力がない状況です。12月出荷分についても、オーダー量は11月と大きく変わらないうえ年末年始の休暇シーズンに入るため、工場の稼働・出荷能力が限られており、オーダーが入りにくい状況が続きそうです。

以上

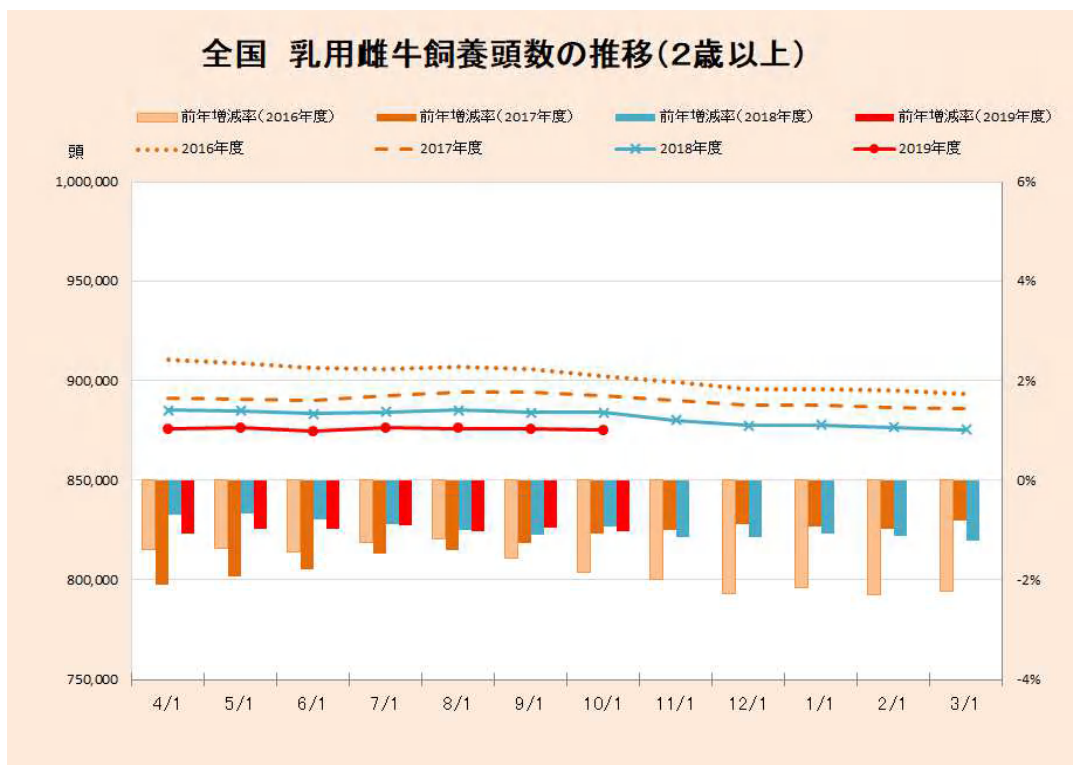
全国(総飼養頭数)



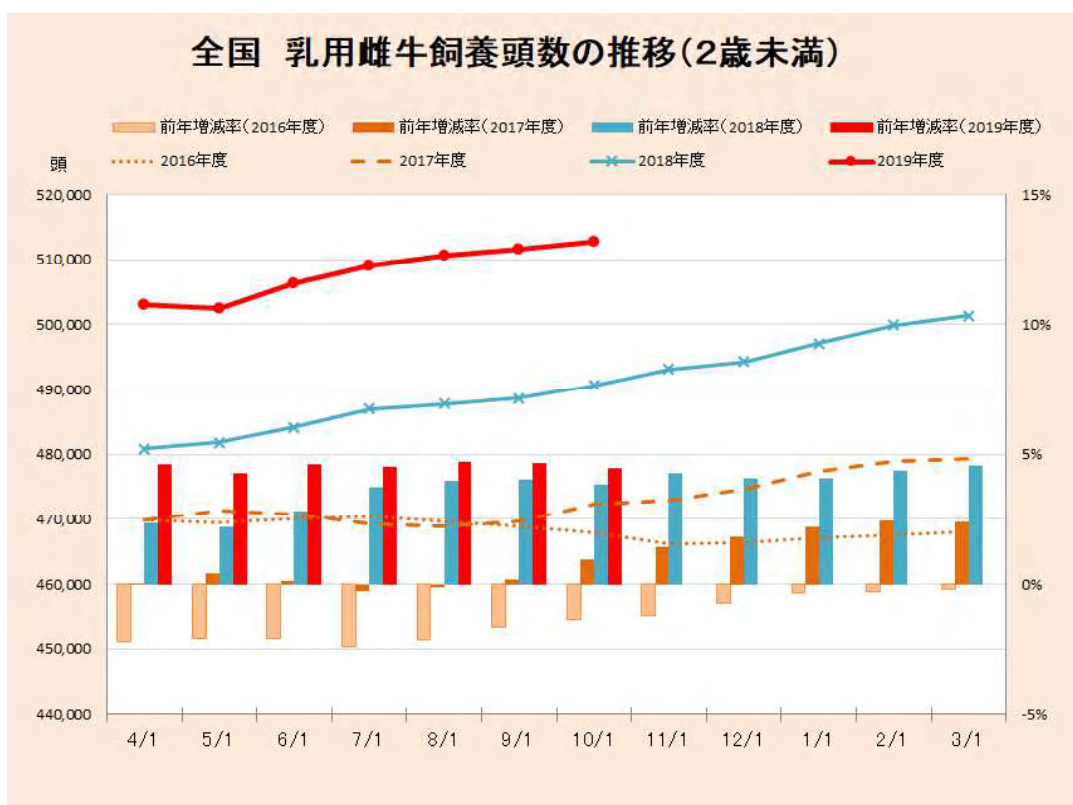
全国(2~4歳)



全国(2歳以上)



全国(2歳未満)



健康な子牛を
育むために。

哺乳管理の自動化で哺育管理の向上と省力化を。

ORION
PRODUCT
LINEUP



移行乳高温短時間
加熱殺菌装置

クイック
パスチャー

- 移行乳を高温短時間殺菌。
(72.5°C/20秒)
- 簡単設置と簡単操作でコスト削減。
- 半自動循環洗浄でコスト削減。



初乳・移行乳
加熱殺菌装置

MAM12A/
MAM30・40

- 加熱処理済の乳給与で疾病リスク・下痢の低減*。
- 豊富な免疫抗体を含む良質初乳による成長の助長。
- 移行乳を加熱処理して哺乳するため、代用乳費、移行乳処分費の大幅削減。

*すべての使用条件において



個別別
自動哺乳ロボット

カーフレール

- 自動で個別ペンに移動して生後日数に応じたミルク量を給与。
- 1日最大8回まで自動給与が可能。少量で新鮮なミルクを給与できる。
- カーフレールホス内の循環水を加温し、最適な



通信機能付き自動哺乳
システムカープフィーダー
デリーフィード
JスマートG2

- 子牛が自由に、自動で哺乳が可能。
- タブレット端末からいつでもどこでも哺乳状況の確認ができる。
- 気温の変化に影響を受けず最適なミルクの温度と濃度管理が可能。



移動式
ミルクカート

ミルクモービル

- ミルクにやさしい湯せん方式により、乳質を保持したまま給与可能。
- 給与量を設定でき、子牛にあった正確な給与ができる。
- 水平タンクでスムーズに充填ホースとタンクは循環洗浄。

生乳処理

ミルク給与

西日本オリオン株式会社

兵庫サポートセンター

神戸市西区榎谷町福谷82

☎078-965-6470



全酪連カーフトップシリーズ

冬季哺育強化キャンペーン

R1 R2
12月～2月の期間限定！

まとめてお得！対象商品ご購入3袋
につき下記のキャンペーンコースから
ご希望商品を1点プレゼント！

環境快適コース

牛床改善資材

TOKOマイト20kg2袋

子牛すくすくコース

免疫グロブリン70g/袋以上配合粉末初乳製品

グッドスタートプレミアム250mg1袋

母牛いたわろコース

体細胞、繁殖対策に高濃度ビタミン配合

ソマテックAE1000 80g2袋



CALFTOP LINEUP

～全酪連代用乳製品～

全酪連カーフトップ
特設サイト



子牛用代用乳

カーフトップ



ホルスタイン雌子牛強化哺育[®]用

カーフトップEX



和牛・F1子牛強化哺育[®]代用乳

カーフトップEXブラック



和牛・ET和牛用代用乳

カーフトップET



兵庫県酪農農業協同組合組合員様向けオリジナル企画です。
他の添付対応等との併用は出来ませんのであらかじめご了承ください。



兵庫県酪農農業協同組合

お問合せ、ご注文は指導購買課職員もしくは全酪連スタッフまで